

仏々祖々、皆本は凡夫なり

随聞記 1-13

小山貴大

どの仏もどの祖師も、皆もとは凡夫であった。

そして凡夫の時には必ず悪い行いもあり、悪い心もあった。
にぶくもあり、ばかでもあった。

しかし、皆それを改めて、指導者に従い、仏の教えと仏の
行いとによって修行したので、みな仏となり祖となったので
ある。

現今の人もそうでなくてはならない。自分はばかだから、
鈍いからといって卑下してはならない。

この世で発心しなければ、どんな時を待つて発心すること
があるだろう。

他に心に移さず行じていると必ず道を得ることができる
のである。